

## 令和6年度 第1回小佐野公民館運営審議会 結果

日 時 R6.5.17(金) 10:00～11:00

会 場 小佐野公民館 2階小ホール

出席者 委員全員出席

黒田委員長、佐々木委員（釜石中）、千田委員（小佐野小）、長谷川委員、吉田委員、山田委員、金濱委員

まちづくり課：佐藤課長、小池社会教育主事

小佐野地区生活応援センター：小原保健師、小職

協議に入る前に、今年度から新委員となった佐々木委員（釜石中学校長）に、佐藤課長から委嘱状が交付された。（なお、金濱委員は4月に町内会長となって、委員職を引き継いだばかり。社会教育委員会議からの正式な承認は間に合わず、委嘱状交付は次回となる。今回はオブザーバー的な扱い）

佐藤課長及び黒田委員長から挨拶。（略）

協議事項の令和6年度の釜石市立小佐野公民館運営方針及び事業計画について、資料に基づき館長から説明。

### ◆質疑等

委員長）事務局から今年度の計画等について説明がありました。ご意見、ご質問等ありませんか。

委員）子ども食堂は、他でもやっているのか？

事務局長）昨年度は、平田と甲子でも実施。

課長）鵜住居も今年やると聞いている。

委員）中身は各館違うのか。

事務局長）そうです。

委員）カレーライスは？

事務局長）それはなぜか、どこも同じ（く取り入れている）。

委員長）前から言っているが、ネーミングを変えては？マイナスイメージが強い。地域で孤立しているお年寄りを巻き込んでみたり、100円くらい取ってもいい（タダだと参加しづらい、というのなら。運営側にとっても、何であれ収入増は助かるはず）。2回やってみてノウハウはあるのだし、参加者の輪を広げてみてはどうか。お年寄りも、子どもと話すだけで変わる。元気になる。

委員）なかなかお年寄り一人では、参加しづらい。各町内会に案内は出すが、孤立している人の参加まではどうなるか、今後の協議になる。ネーミングについては、会（運営会議）の中でも話が出ている。

委員長) 例えば、ふれあいレストランとか、ちょっと横文字入れたりも検討しては。

委員) 民協会長の考えは、「こども食堂というのは残したい」、「残した方が支援を受けるのに通りがよい」というもの。

課長) 「こども食堂」は残しつつ、ミドルネーム的に「ふれあいレストラン」もあっていい。

委員長) 地域のつながりを大前提と考えるなら、「こども食堂」にそこまでこだわらなくてもいいと思うが。

課長) 他でも工夫がみられる。甲子では、今回は若いお母さんと子どもを集めて地域住民との交流の場にしたいと考えているようだし、鶴住居でも地域のお年寄りとの交流で進めるようだ。

事務局) 鶴住居の運営主体は？

課長) 民生委員主体だが、手が足りないはずだし、いろんな団体もあるので、例えば漁協婦人部なども入るようだ。

委員) では次回の準備会で、ネーミングとどういう内容の交流にもっていくのか提案してみる。地域がそう望んでいるという言い方をした方が、わかってもらえるかもしれないし、そうした方がやりやすいということを、我々の会でも理解しないとイケない。

課長) 息の長い活動にしてもらいたい、民生委員さんだけでは厳しい。学校、地域の方、町内会等、一体となって協力し合わないと続かないと考える。

委員) 子どもたちも、今の小佐野小5、6年生は多いがだんだん減っていく。地域の人やお世話になっている人も入れて行かないとイケない。今年の夏は大体内容が決まっているので、冬に向けては検討したい。

委員) 資金にしても、少しでいいので地元の企業や個人にお願いしてみても。

委員) 難しいですね。甲子では大人からは300円いただいたと聞く。

委員長) 集まったお金は一度に出さずに内部留保も必要。企業頼るだけじゃなく、最近見ないが、廃品回収等に取り組んでもいいと思う。

委員) 企業さんもなかなか厳しいときいている。

委員長) 釜石社協の補助金を狙うとか、岩手県の補助金を狙うとか。

課長) 役所関係は、もらえるものは申請出せば大丈夫だと思う。

委員長) 自分のポケットマネーから出すんじゃなく、みんなから協力を得られるような内容で。公民館まつりをやるなら、例えばバザーをやって5円でも10円でも収入を得るとか。継続的な実施も目指して。

課長) やり方にもよる。町内会ももっと巻き込んでいくようにすれば、喋りやすくなる。

委員長) 地域会議もちょっと考えてますので。

委員) 明治安田、保健所の協力も得ている。みんなが楽しみにするような方向に持っていきたい。土日出かけることが多い中で、40~50人集まってくれる。幼児や小さい兄弟と来る子もいる。保護者もついてくる。中学校の校長がお変わりになったが、前の校長とは中学生ボランティアを参加させてもいいのではないかっていう話もしていた。

事務局長) 昨年度2回実施した中で、高校生ボランティアにも入ってもらおうと、これは面白いだとか、自分たちでもっと積極的にやってみたいという反応を示す子もいた。それを中学生でやってみようという話になるかもしれない。そのように進んでいく場合には、ぜひご協力をお願いしたい。

委員) わかりました。

委員長) ふれあいの場がなくなってきた。これが定着するのを目指す、起爆剤となって甲子他にも広がりを見せるはず。その辺を踏まえて、団体の名称、予算といったことも良く考え、関連団体にただ頼るだけじゃなく、自分達でできることはやった上で協力をお願いするというご理解いただければよろしいかなと思います。よろしくお願いします。

委員長) その他何かありませんか。先ほどセンター長から話がありましたが、中学校のブラバンのコラボ、日程的には難しいものがあると思う。コンクールが終わればアンサンブルコンテスト、支部予選、県、東北、全国とある。個人的には、ブラバンやってた人間じゃないけど、コンクールはたしかに団体でやるもの。しかし、アンサンブルは金管・木管であり、一つの団体ではあるが、いわゆるお友達同士で組むということもある。自分が今アンサンブルコンテストに向けて練習しているのを、事前にみんなに聞いてもらうという方法もあると思うので、その辺は校長先生に前向きに検討していただければと思います。このところ吹奏楽を聞いたことがない。昔は釜石南(高校)が地域に入ってやっていた。いつしかポツンと途切れた。生徒の数が減っているというのもあるが、やっぱり楽器の生の音を聞くというのは非常にいいもの。無理のない範囲でやっていただきたい。前向きにご検討いただきたい。

なんで言ったかっていうと、年に2回やっている音楽のカンサート、声楽とピアノを聞くことができる。参加人数は少ないけどこういうのを聞けるってことはなかなかない。

それがホールじゃなくて公民館の館内でやっている。ここ音響いいんですよ。前は小ホールで実施、ファミリー的で良かったが、実はこれも予算がらみなんです。東日本大震災の復興目的でやってる活動で、おそらくもう13年になってるので、そろそろいいのかな、役目は終わったのかっていう感じもある。演者が次々と中身を変えている。体操を取り入れたりも。そういう意味ではなかなかいいイベントだと思っている。そんなに費用が高くなければ何とか続けてもらいたいと個人的には思っている。

課長) 日程とか、いろいろ詰めるところはあがるが、地域会議の共催という形で、お金を出し合っという形は取れるかもしれない。

委員長) では他に質問等がなければ、令和6年度の事業計画について、ご承認いただくということよろしいか。

委員) 異議なし。

委員長) ありがとうございます。

その他として2~3の連絡事項(略)があり、その後終了した。